

会議録

会議の名称	第6回加東市健康増進計画等策定委員会
開催日時	令和2年2月19日(火) 13時30分から14時45分まで
開催場所	加東市役所2階 保健センター 健康教育室1
<p>議長の氏名 (岡本 希)</p> <p>出席委員の氏名</p> <p>藤井信一 森裏律子 山本貞江 古田照代 坂本泰三 武中千鶴子</p> <p>近澤孝則 浅田恵美 岡本 希 林山晃子 藤本しげる</p> <p>欠席委員の氏名</p> <p>増田一貴 藤木宗夫</p>	
説明のため出席した者の職氏名	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>健康福祉部長 藤井 康平</p> <p>健康課 課長 細川公代 副課長 高井玲子</p> <p>係長 岩崎香織 係長 下崎ユカ 係長 櫛原ひろみ</p>	
<p>1 開会</p> <p>定足数の確認を行い、本策定委員会が成立することを報告</p> <p>第6回策定委員会の議事録署名人を、林山委員と藤本委員に決定</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) パブリックコメント結果について</p> <p>事務局から意見提出がなかった旨を報告した。</p> <p>(2) 加東市健康増進計画(最終案)について</p> <p>事務局から前回の策定委員会からの修正箇所を中心に説明し、質疑応答を行った。</p> <p>(3) 加東市健康増進計画概要版(案)について</p> <p>事務局から説明し、質疑応答を行った。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>加東市健康増進計画(最終案)について</p> <p>委員:10ページ下の表の死因の状況ですが、兵庫県のものでしょうか。</p> <p>事務局:兵庫県の人口動態統計の中の、各市町別の死因データから加東市の状況を掲載しています。データ元が兵庫県人口動態統計ということでお示ししています。括弧して、加東市といれておいたほうがよろしいでしょうか。</p>	

委員：全国でとったところは加東市と入っている。これば加東市と入っていない。

事務局：わかりました。そこについては、追記します。

それと、79 ページの歯科の評価指標のところの上から 3 項目めの方向性ですが、横矢印となっております、上矢印として修正します。

委員：5 ページの引用元が「資料：国勢調査」となっているが、これは国勢調査から加東市のデータをとっていることなのか。

事務局：資料については再度確認し、表記を入れます。

議長：ほか、お気づきの点、レイアウトや文言とかを含めてございませんか。議会のほうからの合言葉の位置について意見が出たとのことですが。私は特に気になりませんが。大丈夫ですか。

[賛成挙手]

では、現行のままの合言葉の位置とさせていただきます。

議長：ほかに意見はありませんか。

委員：計画書の最後に資料的なものを添付して、まとめてあるので見やすいと思う。合言葉の位置も、ここを直したら全て直すことになる。統一性を持って、取組の方向性のところに持ってきてあるので、私は良いと思います。ちなみに完成版はカラーですか、白黒ですか。

事務局：計画書は白黒です。紙質は再生紙ではなく、白色の紙になりますので、もう少しメリハリはつくと思います。後に説明する全戸配布をする概要版についても、現在のような内容で、合言葉も入れていきます。

加東市健康増進計画 概要版（案）について

議長：概要版は市民に配布するものなので、細かい数字をいれるよりも、具体的に市民が取り組むことや、目標を書き込むスペースが組み込まれ、イラストも入り親しみがあるような内容で仕上がっていると思いますが、いかがでしょうか。A3 の 2 つ折りになるのですか。

事務局：A4 を横に 3 枚並べた大きさで、左右を内側に折り込んだ前回の概要版と同じ形の仕上がりになります。

議長：カラーであり、見やすいのではないかと。COPD や CKD など難しい単語があると思いましたが、すぐ下に簡潔に説明がされているのでわかるものではないでしょうか。どうでしょうか。委員の方から見られてご意見はありませんか。配布数は何部ですか。

事務局：17,000 部です。

委員：みんなの合言葉と、みんなの取組が赤字で白抜きの文字になっていますが、下地

の色が濃いので見にくいのではないかと。色を変えたほうがいい。

事務局：わかりやすく、見やすいように修正します。

委員：相談窓口一覧ですが、最近ひきこもり相談が増えているが、なかなか身近なところでは相談しにくい。スペースがあるようなら、神戸ひきこもり相談支援センターの電話相談など入れてもらえばありがたい。

事務局：余白もありますので、追加します。

委員：相談窓口がどこでやっているものなのか、国、県など相談名によっては入れた方がよいし、市の担当窓口も課名や受付時間も市民にわかるよう記載するほうがいい。あと、COPD、CKDは記載していても市民からみて難し過ぎると思う。

議長：大学の保健分野の授業でも学生に、たばこを吸ったら慢性閉塞性肺疾患のリスクが上がると教育しますが、学生はわかりません。でも、重点的に取り組みが必要ということで、外したくないというわけですか。

事務局：CKDは重症化予防という国保でも取り組みを進められていることもあり、また、COPDはたばこ対策で、県の条例にもある中で、病気になるリスクも知って、禁煙などの対策に組み込みが必要ということで、前計画から引き継いで掲載しています。市民への周知をどのようにするか、これらの文言を知ってもらうために意図的に使うかを含め、内容を考える必要があると思います。現在では、わかりづらい文言には説明を入れている状況です。

議長：COPDの説明に、たばこ、喫煙者ではそのリスクが上がりますというようなたばこと絡めた説明の方がピンとくるのではないかと思います。

事務局：ご意見を参考に、説明に入れて修正します。また、病名の並びについても、委員の方々のご意見を伺い決めていきたいと思っています。

議長：CKDって書いてあると、何だろうと思います。慢性腎臓病という日本語ではないのでしょうか。

委員：市民の方には、説明にあるような慢性気管支炎、肺気腫についてもどんな病気ということになる。この説明をするのは難しい。

委員：そう言われると、循環器疾患という言葉もわからない。

委員：そうになってしまう。一行目は、わかりやすく高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症の4つぐらいを挙げて、2行目に慢性閉塞性肺疾患を喫煙により発症する等の説明を入れる。慢性腎臓病は、糖尿病が重症化して発症。透析されている方は糖尿病からなので、それらを分けて記載したらよいのではないかと。

事務局：ご意見をいただいたことを反映させ、また副委員長に最終確認をお願いしたいと思います。ここの重症化予防については、市民にわかりやすい表現に修正します。

委員：消費生活センターの相談窓口の記載があるが、婦人会では、振り込み詐欺の消費相談もしているが、この計画に関係ないか。自分たちの活動の中では一対で行っている。警察の連絡方法も入れるほうがよいか。

事務局：健康づくりの計画で、今は市民へ配布する概要版では相談窓口を掲載する仕様になっていますが、どこまでを入れるかを最終的に担当部署と検討し、掲載することとします。

議長：消費生活センターはどのように困っている方が相談されると想定していますか。

事務局：相談窓口を掲載すると決めた際、計画策定支援業者とのやり取りで参考として資料提供をした自殺対策の窓口一覧であり、それがそのまま掲載されています。健康づくり分野や、ご意見をいただいた県のほうの相談窓口なども含め、再度検討します。消費生活センターの相談窓口は自殺対策で啓発しています。健康づくりのほうについては削除する可能性がありますので、ご了承いただけたらと思います。

委員：市の担当課を掲載してないところもあるので、統一してください。

事務局：統一して内容等を精査します。

議長：高齢者虐待相談のところは、土・日・祝日上記時間以外というのは、24時間をイメージしているのですか。

事務局：高齢者の虐待相談については、平日の業務時間内は担当窓口電話ですが、それ以外の時間帯や休日等については、携帯電話にかけていただくことになっています。

議長：障害者虐待相談も24時間対応ですか。

事務局：そこについては、市の担当窓口の番号になっており、携帯電話はありません。夜間、休日等に市にかかってくる電話は、守衛の方から担当に連絡する体制を表示しています。

議長：「☆月～金」で、「8：30～17：15 祝日を除きます。」とあるがどういうことか。

事務局：月曜日～金曜日の対応時間を記載しており、祝日がある場合は除外となります。

議長：悩んだ末に相談電話をされると思われるので、対応する曜日、時間帯の記載については、検討いただきたい。

委員：こころの健康ホットダイヤルと、下にあるこころの病気・障害相談とは担当課が違うのか。

事務局：こころの健康ホットダイヤルは書いていませんが健康課が担当です。こころの病気や障害の相談については、障害福祉のセンターが主な相談対応をしておりますので、障害、病気や受診等の相談含めた対応を行っている。どちらにかけていただいても、必要な内容であればつなぐことができるが、一旦はこのような形でわけて掲

載しています。

委員：こころのケアの窓口もあるし、わかりづらい。

事務局：県と市の窓口が混在しておりますので、もう少し整理して修正します。

議長：例えば、介護認定を受けたいという場合、高齢者の生活・介護相談にかけて、違う場合は担当の課へ回していただけるということまではされていませんか。

事務局：市民の方も、窓口を選ばれて電話をかけてこられていますが、より専門的な相談がよい場合は、そちらの窓口につないだり、一緒に相談に行くということもさせていただけると思っています。

議長：先ほどの委員の意見があったように、似たような感じでわかりにくい。電話をかけて、ほかの相談窓口のほうが適している場合は、電話番号を教えてもらえるような流れですか。

議長：市役所の時間内であれば、担当部署につないでいきます。来所の場合は、担当窓口に行きつないでいくということもケース・バイ・ケースで行っています。

委員：例えば、「高齢者何でも相談」として、「(医療、介護、生活、虐待)」にして、同一番号にして、ここに電話したらどこかにつながるというようにした方がよいのではないか。対応がよくなかったりしたら、高齢者は2回目、3回目とかけないと思う。お元気でない場合もあるので、もういいということになってしまう。高齢の担当課の意見もあるでしょうが。

事務局：高齢介護課に確認します。緊急性の高い虐待などを担当では、夜間は携帯電話を持っているので、高齢者何でも相談にした場合にそのあたりの対応でできるかどうかがあります。地域包括担当と調整して検討します。

議長：ほかにはないでしょうか。

委員：最終ページの医療の確保ですが、みんなの取組の中には「救急車の適正利用を心がけましょう」と入っていますが、合言葉にも入れてはどうでしょうか。軽症で救急車を呼ばれ、出動回数も増えてきているという現状で、重症の方への対応が遅れるなど問題が起こっている。

事務局：現在の合言葉にもうひとつ、「救急車の適正利用を心がけよう」という感じで2つ合言葉をいれるということですか。

委員：そのように入れていただけたらいいです。

事務局：現在、問題になっていることで、市民の方へ周知すべきことを合言葉として入れてもいいと思いますが。

委員：是非、地域医療を守るためにも入れていただきたい。

事務局：わかりました。計画書と概要版に救急車の適正利用について入れるようにします。

議長：ほかにお気づきの点はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長：それでは、加東市健康増進計画案と概要版については、意見をいただきましたのでそれを踏まえて修正し、私と副委員長で確認させていただきます。2月28日の市長答申後に、健康増進計画を策定することになります。その流れでよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いします。

〔全員挙手〕

では、事務局はその予定で進めていただくようお願いいたします。

ほか、全体を通して何かご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がないようですので、これで議事を終了します。

午後2時45分 閉会

その他

概要版は、5月号広報紙配布に合わせて全戸配布する。

閉会

委員長閉会の言葉

令和2年4月 日

委員長 岡本 希 (印)

署名人 林山 晃子 (印)

署名人 藤本しげる (印)